

学生会だより

中国四国学生会の活動 (中国四国学生会)

中国四国学生会は、中国 5 県(岡山、鳥取、島根、広島、山口)と四国 4 県(愛媛、香川、高知、徳島)の約 520 名の学生会員を擁する組織である。現在、会員校に、13 大学、12 高等専門学校と 1 大学校が属している。山陰、山陽そして四国に位置する地理的条件などを考慮し、六つの地区(岡山、山陰、広島、山口、愛媛、南四国)に分かれ、各地区から選出した委員長校 1 校と幹事校 5 校のもとで活動している。以下、中国四国学生会の主な活動状況を紹介する。

1. 卒業研究発表講演会

卒業研究発表講演会は、委員長校を会場に毎年 3 月の卒業時期に開催され、多くの学生員が、1 年間の卒業研究の成果を発表する場となっている。第 42 回学生員卒業研究発表講演会は、2012 年 3 月 7 日(水)に広島大学工学部(東広島市)を会場に、申込件数 303 件、15 室の講演会場で開催される予定である。毎年、1 年間取り組んできた研究成果を熱心に発表し、また発表に対し活発な討論がなされている。この講演会で優秀な発表を行った学生に対しては優秀発表賞が贈られる。2011 年 3 月岡山理科大学を会場に開催された第 41 回学生員卒業研究発表講演会では 30 名が受賞した。ここ数年の講演申込件数は、毎年 300 件前後である。発表者は、日本機械学会の学生会員であることが条件

とされている。そのため学生員数は大きく変動することなく維持され、減少傾向にある正会員数の動向に比較して喜ばしい状況にある。学生は、この研究発表会で発表することが会員となる一つのきっかけになっている。卒業研究発表講演会をより活性化させ、さらに多くの学生が学生員となることを、そして卒業後も継続して日本機械学会会員として活躍してくれることを期待している。

2. 機械の日・機械週間

8 月 7 日の「機械の日」を中心に 7 月末から 8 月末にかけて、中国四国学生会会員校で「機械の日」イベントが開催されている。各校のオープンキャンパス(図 1)時に幟を立て、ポスターの掲示、パンフレットの配布、研究室の開放と見学会など種々の企画が実施され、先端機械システム技術の啓発、機械学会の説明および 8 月 7 日が「機械の日」であることの周知がなされている。このほか夏休み親子イベント、ものづくり体験講座(図 2)や「メカライフの世界」展(表 1)など小学生から一般人までを対象とした企画により、機械システム技術を身近に感じ、また、その重要性を理解いた

たく機会となるよう努めている。

3. 親睦会ほか

上記の活動のほか、地区ごとに、親睦会、見学会、講演会、ソフトボール大会や駅伝大会などを企画し、研究の合間に学生員同士の親睦を深めている。〔広島大学大学院工学研究院 教授 遠藤琢磨〕



図 1 オープンキャンパス(広島大学)



図 2 ものづくり体験講座(大島商船高等専門学校)

表 1 2011 年度「メカライフの世界」展のテーマ一覧

学校名	開催日	テーマ
高知工業高等専門学校	8 月, 9 月, 10 月	機械工学ふれあい広場 2011
米子工業高等専門学校	8 月 19, 26-27 日 11 月 12 日	地球環境に優しいスターリングエンジン・スターリングクーラーの体験授業
香川高等専門学校	8 月 27 日	ガソリン 1 リットルで動く車を動かしてみよう
鳥取大学	9 月	鳥取大学 学生フォーミュラプロジェクト
松江工業高等専門学校	10 月	ロボット製作にチャレンジしよう!!
水産大学校	10 月 9~10 日	海洋・水産に関わる機械工学